



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月13日

上場取引所 東

上場会社名 中外鉱業株式会社  
コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 葛山 稔

(氏名) 桜庭 勲

配当支払開始予定日

未定

TEL 03-3201-1541

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	3,490	△15.5	△135	—	△179	—	△183	—
26年3月期第1四半期	4,132	8.9	△1,044	—	△1,053	—	△872	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △180百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △1,078百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△0.63	—
26年3月期第1四半期	△3.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	8,595	7,445	86.6	25.68
26年3月期	8,824	7,626	86.4	26.31

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 7,439百万円 26年3月期 7,620百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	7.4	120	△70.1	70	△82.6	0	△100.0	0.00
通期	18,300	25.5	380	△18.8	290	△35.0	60	—	0.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	289,747,982 株	26年3月期	289,747,982 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	91,926 株	26年3月期	91,476 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	289,656,146 株	26年3月期1Q	289,658,933 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和策を背景に企業収益の改善等、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、消費増税前の駆け込み需要の反動減による個人消費の減速、海外景気の下振れや地政学的リスクの高まりから先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金・銀・プラチナ等の貴金属価格は、世界情勢によるリスク回避と米国経済の景気回復による金投資の意欲減退が拮抗し横ばい推移だったものの、6月初旬以降、地政学的リスクの高まりから上昇基調で推移いたしました。売上高においては金原料の集荷量が当初見込みを下回ったことから前年同期に比べ減少いたしました。宝飾市況においては、個人消費の本格的な回復が見込めず、依然厳しい環境のもと推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続等、住宅購買意欲は回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減等により、厳しい状況のもと推移いたしました。機械事業においては、海外自動車市場の堅調さを背景に受注環境は国内及び欧米を中心に回復基調にあり、中古工作機械業界においても堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,490,157千円(前年同期4,132,047千円)、営業損益は135,702千円の損失(前年同期1,044,153千円の損失)、経常損益は179,560千円の損失(前年同期1,053,251千円の損失)、四半期純損益は183,780千円の損失(前年同期872,503千円の損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は2,658,367千円(前年同期3,292,288千円)、営業損益は4,990千円の利益(前年同期61,475千円の損失)となりました。

宝飾事業におきましては、売上高は325,213千円(前年同期330,052千円)、営業損益は18,856千円の損失(前年同期29,014千円の損失)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は79,531千円(前年同期24,030千円)、営業損益は5,658千円の損失(前年同期123,161千円の損失)となりました。

機械事業におきましては、売上高は420,312千円(前年同期485,122千円)、営業損益は15,196千円の利益(前年同期20,966千円の損失)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は6,601千円の損失(前年同期693,885千円の損失)となりました。

研究開発事業におきましては、売上高は2,652千円(前年同期553千円)、営業損益は23,479千円の損失(前年同期28,768千円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産の残高は、前連結会計年度末より229,485千円減少し、当第1四半期末は、8,595,263千円となりました。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(1,646,555千円から1,271,000千円へ375,555千円の減少)であります。

当第1四半期末における負債の残高は、前連結会計年度末より48,927千円減少し、当第1四半期末は、1,149,363千円となりました。

減少の主なものは、未払金の減少(68,020千円から39,714千円へ28,306千円の減少)、長期借入金の減少(668,340千円から633,420千円へ34,920千円の減少)であります。

当第1四半期末における純資産の残高は、前連結会計年度末より180,558千円減少し、当第1四半期末は、7,445,899千円となりました。

減少の主なものは、利益剰余金の減少(△5,133,889千円から△5,317,710千円へ183,826千円の減少)であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成26年5月14日付決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,646,555	1,271,000
売掛金	20,066	45,241
商品及び製品	1,080,841	1,211,015
仕掛品	131,111	188,211
原材料及び貯蔵品	2,163	7,659
販売用不動産	96,512	125,381
仕掛不動産	429,044	375,988
預け金	1,860,524	1,860,523
その他	90,948	66,076
流動資産合計	5,357,767	5,151,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,386,731	1,390,060
減価償却累計額	△422,507	△441,786
建物及び構築物(純額)	964,224	948,273
機械装置及び運搬具	527,426	493,964
減価償却累計額	△423,386	△393,527
機械装置及び運搬具(純額)	104,040	100,436
土地	1,691,391	1,691,391
その他	116,387	116,635
減価償却累計額	△102,817	△103,394
その他(純額)	13,569	13,240
有形固定資産合計	2,773,224	2,753,342
無形固定資産		
地上権	365,000	365,000
その他	6,742	6,552
無形固定資産合計	371,742	371,552
投資その他の資産		
投資有価証券	154,139	159,239
出資金	9,205	9,205
長期未収入金	487,019	487,019
敷金及び保証金	146,965	139,122
その他	11,703	11,703
貸倒引当金	△487,019	△487,019
投資その他の資産合計	322,012	319,270
固定資産合計	3,466,980	3,444,164
資産合計	8,824,748	8,595,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,974	36,836
1年内返済予定の長期借入金	139,680	139,680
未払金	68,020	39,714
未払法人税等	29,401	12,964
その他	26,577	40,356
流動負債合計	283,654	269,552
固定負債		
長期借入金	668,340	633,420
長期未払金	1,800	—
金属鉱業等鉱害防止引当金	7,033	7,033
預り敷金保証金	21,378	21,681
繰延税金負債	34,726	35,291
資産除去債務	181,357	182,385
固定負債合計	914,635	879,811
負債合計	1,198,290	1,149,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,782,064	12,782,064
利益剰余金	△5,133,889	△5,317,669
自己株式	△31,039	△31,054
株主資本合計	7,617,136	7,433,340
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,148	6,430
その他の包括利益累計額合計	3,148	6,430
少数株主持分	6,172	6,127
純資産合計	7,626,457	7,445,899
負債純資産合計	8,824,748	8,595,263

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	4,132,047	3,490,157
売上原価	4,803,270	3,244,694
売上総利益又は売上総損失(△)	△671,222	245,462
販売費及び一般管理費	372,931	381,165
営業損失(△)	△1,044,153	△135,702
営業外収益		
受取利息	17	17
国庫補助金収入	10,286	10,138
為替差益	5,856	—
保険金収入	—	1,119
その他	4,127	1,465
営業外収益合計	20,287	12,740
営業外費用		
支払利息	5,440	3,201
休山管理費	23,926	51,427
その他	18	1,969
営業外費用合計	29,385	56,598
経常損失(△)	△1,053,251	△179,560
特別利益		
負ののれん発生益	4,488	—
特別利益合計	4,488	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,048,763	△179,560
法人税、住民税及び事業税	8,801	5,518
法人税等調整額	21,145	△1,252
法人税等合計	29,947	4,265
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,078,710	△183,825
少数株主損失(△)	△206,206	△45
四半期純損失(△)	△872,503	△183,780

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,078,710	△183,825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	3,282
その他の包括利益合計	—	3,282
四半期包括利益	△1,078,710	△180,543
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△872,503	△180,498
少数株主に係る四半期包括利益	△206,206	△45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	3,292,288	330,052	24,030	485,122	—	553	—	4,132,047
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,016	—	—	—	—	4,016
計	3,292,288	330,052	28,047	485,122	—	553	—	4,136,064
セグメント損失 (△)	△61,475	△29,014	△123,161	△20,966	△693,885	△28,768	—	△957,271

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	4,132,047
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,016	—
計	△4,016	4,132,047
セグメント損失 (△)	△86,882	△1,044,153

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。

2. セグメント損失 (△) の調整額△86,882千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△86,882千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計
	貴金属事業	宝飾事業	不動産事業	機械事業	投資事業	研究開発		
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	2,658,367	325,213	79,531	420,312	—	2,652	4,079	3,490,157
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	4,007	—	—	—	—	4,007
計	2,658,367	325,213	83,538	420,312	—	2,652	4,079	3,494,164
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	4,990	△18,856	△5,658	15,196	△6,601	△23,479	△4,133	△38,544

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
(1) 外部顧客への 売上高	—	3,490,157
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	△4,007	—
計	△4,007	3,490,157
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△97,157	△135,702

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、企画開発関連を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額△97,157千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△97,157千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更等)

前連結会計年度から、「調整額」に含まれていた「研究開発」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。